

平成29年度第3回環境審議会 議事要旨

日時 平成29年10月31日（火）13時30分～15時15分

場所 田川市役所1階 大会議室

（○委員、▲事務局、■コンサル）

1. 開会

▲事務局

定刻となったので、平成29年度第3回田川市環境審議会を開催する。

本日の会議は、委員2名が欠席との連絡を受けている。

（配布資料の確認）

これ以降の議事進行については、会長にお願いします。

2. 議題

○会長

それでは、議題(1)第二次田川市環境基本計画素案について、事務局より説明を求め
る。

(1) 第二次田川市環境基本計画素案について

■コンサル

前回は素案の第4部、施策のところはまだ煮詰まっていないという状況だった。そ
して前回の環境審議会以降2つの調査を行った。1つ目は資料2に示している「田川
市環境審議会事前アンケート」、2つ目は「庁内環境関連施策調査」である。「庁内環
境関連施策調査」は新しい計画に何を載せるか、載せるべき新しい施策はあるのかを
各課に照会をかけたものである。この2つの調査の内容を資料1「第二次田川市環境
基本計画素案」に反映している。

まず資料2「田川市環境審議会事前アンケート結果」について説明する。事前に委
員の皆様にお答えいただいたアンケートの結果を示している。

p.1 環境像に対して委員の方々からいただいた意見で、単語などのキーワードや意
見を載せている。環境像についてはこの後議論していただく。

p.2 ②-1では施策に対する意見、②-2では施策以外に対する意見を聞いた。緑色
の文字で示している部分は、計画素案に既に反映している。文章の追加、単純な修正
で内容に大きく影響しない部分で、事務局と協議して修正した。詳細は後程説明する。
他の意見についても検討を進めているが、検討結果は質問の時に事務局よりお答えす
る。

p.3 概要版についての意見で、議事(2)で説明する。

資料1「第二次田川市環境基本計画素案」で主に修正した部分を説明する。

p.38 前回委員より意見をいただいた部分で、リサイクル率の推移のグラフ横に、「リ

サイクル率は、焼却施設の炉の型式と焼却灰の処理方法等によって大きく変わります。田川市と同じ型式・処理方法を採用する福岡県内の市町村平均(平成27年度)は9.6%です。」と注釈を加えた。

p. 62 取消線が付いている施策は、庁内の調査で担当課より削除希望があった施策で、例えば同ページ②交通体系の整備、p. 63上部「廃食用油のリサイクルについての研究」などである。

赤文字は、調査で修正された文章のことで、例えば同ページ中部「県や関係機関と連携し」や、p. 63「し尿汲み取りや単独浄化槽から合併浄化槽への転換」、「浄化槽(合併・単独)を適切に管理すること」を修正している。

緑の背景がついた施策は、審議会委員のアンケートを基に追加・修正した施策・文章のこと。資料2のp. 2に示しているように、素案に反映した部分をそれぞれ説明する。まず会長からの意見で、「食品ロスの対策も記載してほしい」ということで、p. 65に食品ロスの対策を追加している。また食品ロスが何かわからない人のためにコラムを追加する予定である。次に「地球温暖化防止活動推進の活用、「うちエコ診断」の実施を加筆」ということで、p. 77に「うちエコ診断の実施」を追加している。委員からの意見で、「p. 63 3)① 水質調査地点・・・に「p. 102参照」を追加して欲しい。」ということで「p. 102参照」を追加した。そしてp. 102には12か所の水質測定点を示している。環境調整会議でそれぞれの測定地点の地点名を追加するようにと意見があったので追記する予定である。委員からの意見で、「p. 69③の田川市人にやさしく・・・の文面で、ペットの飼い方の後に「マナーなど」と付けていただけませんか。」「p. 78開口部の断熱強化 よしず、すだれと自然に優しい緑のカーテン(植物)を入れてみては。」「p. 19②昭和後半以降の中身、平成21年に開通した筑豊烏尾トンネルを入れてはどうですか。」というので、それぞれ追加している。委員からの意見で、「不法投棄対策の強化、カメラ等の設置を行ってはどうでしょうか」ということで、p. 67に「ビデオカメラによる不法投棄箇所の監視」を追加している。これは実際に既に行われている対策である。委員からの意見で、「第2部 6. 廃棄物の排出量をリサイクルの所でリサイクル率向上につながる分析データ、記録が欲しい」ということで、先ほど説明したとおり、p. 38に型式・処理方式の違いについて注釈を加えている。

オレンジの背景は、国内外の動向や担当課の意見を踏まえて追加した新たな施策である。p. 63「土壌汚染対策の推進」、p. 64「ごみの分別の普及・啓発」、p. 78「住宅の省エネ性の向上」、p. 83「グリーン購入の推進」と「環境関連施策の展開と地域の活性化」、p. 87~88「適応策の推進」を追加した。進捗指標と目標は現在検討中で、パブコメ前に追加した案を示すので意見をいただきたい。

○会長

資料2のp. 2について、各委員より一言、ご意見や回答した内容への思いをいただきたい。本日欠席の委員のご意見について、事前に事務局が聞き取りをしているので、その報告を事務局から願います。

まず私の部分で、緑色の部分はこの内容で良いと思う。また「各項目について市役所のどの部署が扱うのか、責任の所在を明記すべき」ということで、最終的に事業が実施されているか評価するときに、それぞれの項目の責任を明らかにしないといけない。表などで担当部署をいれるとわかりやすくなるだろう。その他の部分で、市民の

方は、この計画は市がやれば良いのかと思ってしまう。わかりにくいので市民・事業者の具体的取組がわかるよう工夫してほしい。

▲事務局

市の担当部署の記載について、基本計画の中では控え、今後進捗管理をしていくときに審議会に担当課を示したいと思う。その他について、今後パブコメで公表する資料には市民・事業者・市の取組を記載する予定である。その案については審議会後、委員の皆様へ改めて意見を伺う。

○会長

p. 77「省エネルギー・新エネルギーの促進」となっている。新エネルギーという言葉は一般の方にはわかりにくい。再生可能エネルギーという言葉に置き換わってきている。ただし再生可能エネルギーの促進というよりは、太陽光などでエネルギーを創り出していく「創エネルギー」という考え方も出てきているので、「創エネルギーの促進」としたほうがわかりやすい。

次の委員に意見を願います。

○委員

p. 63 1)は「p. 102参照」と入れていただいたので問題ない。二項目は先ほど地名を入れると説明があったので問題ない。その他も検討されるということで結果を待っている。市民に波及していくようなものになると、市民全体の活動にもつながるので、検討をお願いしたい。

▲事務局

委員のp. 86水道使用量の数値目標の意見について、水道局に確認したところ数値目標として設定しているものはないということだったので、掲載は難しい。

○委員

節水対策の例など市民の意識づけについて書いてもらえれば良いと思う。

○会長

次の委員に意見を願います。

○委員

p. 89の意見については問題ない。p. 109の進捗指標が検討中となっているが、数字を検討中なのか記載を検討中なのか教えてほしい。

▲事務局

先ほど説明したとおり、パブコメ前に進捗指標と目標の内容を検討し、追加する予定である。事務局案を郵送するので、意見をいただきたい。パブコメ以降も反映できるものは反映していきたい。

○委員

p. 30「自然環境の価値の高い地域」とp. 44「農業生産活動別の主な環境へのリスク」に使用されている資料が古い。もう少し新しい資料はないのか。

■コンサル

p. 30自然環境については、10年前に計画を作った時のデータが最新で、新たに調査をしていないので加筆ができない。p. 44については、新しい資料があれば差し替える。

○委員

p. 95ロマンスヶ丘における取組が第一次の計画と変わっていない。保全、管理の体制作りや対策に取り組んでいたら、発展、継続させるという内容に変えると良い。

▲事務局

計画策定にあたり各課に照会をかけた結果をそのまま示しているが、担当課に確認する。

○委員

p. 84「駐輪場の整備、歩道の整備」に取消線が付いている。予算等の関係もあると思うが、「駐輪場の整備に努めます。」というくらいは書いても良いのではないか。

▲事務局

これについても担当課に確認する。

○会長

特に駅周辺が再開発で変わりつつある。整備が不十分であれば、そのような施策は必要である。

○委員

p. 100 水質汚濁の主な配慮事項に「下水道や合併処理浄化槽の普及拡大」とある。「下水道」を消した方が良いだろう。

▲事務局

田川市では合併処理浄化槽の普及を進めていくため、下水道の表記は削除する。

○委員

p. 53「環境関連団体の現状」で、平成29年1月から5月までの登録団体とあるが、新しい情報に更新したほうが良い。

▲事務局

可能な限り最新の情報に更新する。

○会長

次の委員をお願いする。

○委員

p. 69 ボランティアは個人や事業所の敷地内には入れないので、所有者の責任について触れるべきと思い意見を出した。

▲事務局

市・市民・事業者で取り組むべき内容をパブコメ前に追記する予定である。自分の住んでいる場所の周辺は自分で整備しようという取組を行っている。環境対策課としては、ボランティアの方にごみ袋を配布して、僅かながら支援している。

○委員

市民・事業者の取組は概要版に簡潔に示してほしい。

また、騒音・振動問題は環境基本計画で触れなくてよいのか。

■コンサル

騒音については、今の計画書の記述だとなかなか見えてこない。他の事例では、大気環境の現況の部分に騒音・振動について入れるケースがある。施策についても「典型7公害」の部分に具体的に入れるケースもある。p. 62の①③に、近隣騒音等の法律の遵守や指導に関する施策を入れている。もう少し騒音・振動についてわかるように、ということであれば、現況と施策の記述を検討したいと思う。

○委員

田川市の場合、大きな事業所もないので、問題になるのは主に近隣騒音だと思う。p. 62の③で記載があるので良いと思う。

○会長

次の委員をお願いする。

○委員

香春町は一斉に浄化槽の普及をしている。農村地帯は土壌の問題もあるので、田川市も同様にできないかと思う。

廃棄物については、北九州市のエコタウンのように、どのように再利用されるかを、もっと市民に知ってもらおうとゴミが減ると思う。

その他として、町内の放送が聞こえない箇所があり、市民に台風や大雨の危機を知らせるために放送箇所を増やしてほしい。

p. 10～12のグラフを見やすいように変更してほしい。凡例を上にした方が見やすいと思う。

p. 30の自然環境の価値の高い地域の表で、太祖神社のアオバズクは聞いたことがない。今はイノシシとシカが多く、農作物の被害が出ている。

■コンサル

図の凡例や色については、環境調整会議でも指摘があったので、最終的に冊子になるときはわかりやすい工夫をする。

○会長

イノシシやシカの獣害については自然環境のところで触れているのか。

■コンサル

今の段階では特に触れていない。現状として獣害があるのであれば、この計画にも書いておかないと伝わらない部分がある。具体的には事務局や担当課と相談して示し方を検討する。

p. 31の表は、福岡県のレッドデータブックで、これまでの調査で得られた知見を基に整理をしている。このような貴重な種がこれまでに確認されていて、今後も大事にしていけないといけない、という意味で記載している。

▲事務局

福岡県内では市町村設置型で浄化槽設置をしている自治体が5つある。市町村設置型とは、個人の家在市町村が一部費用を出して浄化槽を設置する方式で、一番近いところでは香春町が実施している。12、3年前から実施していて、普及率は上がってきている。田川市の場合、普及率は60%ほどで、残りの40%をどうするのが喫緊の課題である。昨年10月に下水道事業は行わないと決定し、現在合併浄化槽の推進に関する計画を練っている段階で、近々市民の方にも示すことになる。

▲事務局

防災無線は安全安心まちづくり課が担当である。難聴地域については、連絡いただければ定期的に調査をして、それぞれ対応している。ただし冬場や雨天時など、気密性の高いサッシを閉めていると、サイレンは聞こえるが内容は聴こえにくいという意見をよくいただく。何か鳴っている場合は窓を開けて聴いてもらうといったお願いもしている。今各地で大きな災害が起きているので、避難所を早い段階で開設するようになっている。何かあれば安心安全まちづくり課が対応する。

▲事務局

再利用について、田川市では小学校3年生と5年生向けに環境副読本を教材として配布している。ペットボトルキャップは公共施設や学校に回収箱を置いており、机の引き出しやプランターなどに生まれ変わることを説明している。

○委員

ペットボトルは3Dプリンターの材料にもなる。何か作るところを子供に見せると、リサイクルが形になることがより見えると思う。

○会長

次の委員お願いする。

○委員

p. 75「地産地消の推進①学校教育における推進」について、現在食育ボランティアで、地元の大豆を使った豆腐作りやゴミの出ないエコクッキング等の説明をしている。そのような活動のことや食・農業の大事さについて書いてもらいたい。小学校は後藤寺小学校のみ声がかかっている。先生たちも忙しく、田川市内でなかなか広がっていない。

また、昔は金国山等に山登りをしていたが、荒れて危険区域になってしまい残念に思う。

▲事務局

学校における地産地消の推進の活動について、盛り込みたいと考えている。山登りについては、山林担当の部署と検討する。

○会長

欠席の委員の意見については、事務局より説明をお願いします。

▲事務局

まず1人目の委員の意見について説明する。水辺の保全について、彦山川がいまひとつ有効に利用されていないと感じている。流域に生息する生き物と子供たちが安全に触れ合える場所を作ると良いのではないかと。という意見であった。また、温暖化対策について、先進的な機器を導入したところを見ることができたら参考になるのではないかと。という意見であった。

次に2人目の委員の意見について説明する。川にゴミが多く、驚くようなものが流れてくるのを見たことがある。まるでゴミ捨て場のように感じたので、何か施策を考えてほしい。という意見であった。

川の廃棄物については、国土交通省遠賀川河川事務所より不法投棄のデータを提供いただけるように協議が進んでいる。現状が分かるものを計画に載せる予定である。

○会長

本論は今回の意見を反映して修正するようにお願いします。次に環境像について、まず欠席の委員の意見について、事務局より説明をお願いします。

▲事務局

まず1人目の委員の意見「reborn」について説明する。採炭地として賑わった田川は衰退している。そのような中で、一層住みやすい環境をつくるためにもう一度生まれ変わることが必要である。また他の委員の方の「次世代」「今できること」という意見に共感している。という意見であった。

次に2人目の委員の意見について説明する。田川市の土地柄を活かして、人にやさしいまちづくりを目指していきたいという思いから、「人と環境が共生し、人に優しくつつくしいまち」という意見を出した、ということであった。

○会長

本日配布された資料に環境像の意見、キーワード、総合計画や市長の考え等がまとめられている。まず委員の方にそれぞれの思いを言っていただく。私は原案通りが良いと思うが、「つなぐ」「人材を育てる、増やす」という内容も入れたいと思う。言葉が長いとピントがずれるので、必要最低限のものが良い。

○委員

現行計画の環境像で問題は無いが、わかりやすく言葉に出しやすいもののほうが良い。頭に残るような言葉を入れてはどうかと思い案を出した。

○委員

学校に配布するときに、田川をもっと知ってもらいたいという思いがあった。自分の子供も生まれ育った田川に帰ってきたいと言っていて、通勤は長くなるが実際に帰ってきた。子供たちに田川のことを知ってもらい、いつかは帰ってきたいと思ってもらいたい、という思いから案を出した。

○会長

意見に出しているように、田川ならではの言葉が環境像に入ると良い。

○委員

文書言葉ではなく、話しかけ言葉にすると子供たちにも受け止めやすいと思う。

○委員

今の環境は今生きている人が預かっていて、次世代に続けていかなければならないという思いで書いた。また、環境というと水質や大気汚染に目がいくが、水や空気が綺麗でも街の中が汚れていては意味がない。その意味で「地球環境と地域環境」と書いている。

○委員

私たちは生きるために水を大切にしたり、山の自然の美しさ、農作物の豊かさなどを良くしたいと思い「環境の大切さは私たちの命です。」と書いた。

○委員

田川に住んでいる人でも、田川のこと知らないことがたくさんあるので、他人事に感じずにみんなで田川を創っていきたいという思いで案を出した。

○会長

色々な案を出していただきありがとうございました。この中からまとめなければならない。今出てきた中では、「一緒になってやる」とか「次の世代に繋いでいく」、「田川独自の言葉を使う」などがある。堅苦しい言葉だと子供たちにはわかりにくい。

○委員

環境を通して田川を知ってもらいたい。

○会長

現行計画の「たが環」は良いと思う。共生という言葉は難しいので、例えば「みんなで作ろう」とも言える。英語や横文字が入っている案はやめた方が良い。

○委員

「みんなで創ろうよ」と話しかける言葉が良いと思う。

○委員

方言で「創っちゃうるばい」はどうか。

○会長

「創っちゃうるばい ○○の田川」のように続くと良い。

○委員

呼びかけるのであれば「創ろうや」が良い。

○委員

自分たちが胸を張って田川と言えるようになると良いと思う。

○委員

「胸張れる田川」はどうか。

○委員

「みんなで創ろうや 胸張れる田川」で良いと思う。

○会長

「田川（たが環）」とすれば、環境にもかかっている。「みんなで創ろうや 胸張れる田川（たが環）」でどうか。

○委員 (全員)

異議なし。

田川ならでの言葉 → 創っちゃうるばい ○○の田川(たがわ)
英語は使わない みんなで創ろうや ○○の田川(たがわ) → たが環
次の世代にもつながる(繋がる)
胸張れる田川(たがわ)
つく ぶねは わ
みんなで創ろうや 胸張れる田川(たが環)

○会長

審議会案として決定する。漢字にはルビを振ると良い。
それでは、議題(2)計画の概要版について、事務局より説明を求める。

■コンサル

資料2のp.3に審議会委員からの概要版に対する意見を示している。

③-1 ページ数については、16ページくらいのボリュームが良いという意見がほとんどであった。

③-2 朝倉市の概要版で何を取り入れるかについて、「Jクイズ」と「Kチャレンジ宣言」はあまり記載の要望はなかった。反対に「Bみんなで取り組むことの大事さ」と「D水について」が7人と最も多かった。その他として地産地消の推進を入れてほしいという意見があった。

③-3 その他の内容についても、それぞれ意見をいただいた。委員からは田川市の防災マップを入れてほしい、BODの説明を子供でも分かりやすいようにしてほしい、という意見があった。

概要版はまだ形になっていないが、次回の審議会に素案をお見せできるよう、会長とも協議をしながら作業を進めたいと思う。

○会長

概ねこの流れで良いと思う。議題(3)その他について、事務局より説明を求める。

▲事務局

事務局から3点ある。まずパブコメ前の委員意見募集について、11月上旬までに、パブリックコメントで公表する環境基本計画(案)を各委員宛に郵送する。当該計画(案)には、本日の資料(計画(案))に、各施策に関する役割分担(住民、事業者、市)、環境像を追記する。確認してもらい、意見があれば11月20日(月)までに事務局に提示してもらいたい。会長と協議をしながら、可能な限り当該計画(案)に反映させて、パブリックコメントの公表資料としたい。なお、今回パブリックコメントで公表する当該計画(案)は、あくまで審議途中の計画であり、11月20日(月)以降の意見についても、パブリックコメントの意見とあわせて、審議会でも議論を行っていただき、計画に反映することは可能である。

○会長

質問意見等はないので、そのスケジュールで進めていただく。

▲事務局

パブリックコメントの実施概要を資料3に示している。
(資料3の説明)

○会長

できるだけ多くの意見をいただけるようにしてほしい。

▲事務局

次回の環境審議会の日程について、2月6日（火）の13時半はどうか。

○委員 (全員)

異議なし。

3. 閉会

○会長

以上で平成29年度第3回環境審議会を終了する。